

# 店長の能力検定試験

## マクドナルド 元社員らが協会 予算管理など出題

日本マクドナルドの元社員を中心に大手外食企業の勤務経験者が中心となって、店長の能力の検定試験制度を本格的に始める。予算管理やマーケティング手法など店長に求められる基本知識を問う。店長職を対象を絞った検定制度は珍しく、社内検定制度を設けられない中小企業での導入や、就職・転職時に生かせる資格として広がることを期待する。

## 中小の利用見込む

「日本店長能力検定」の概要

項目	内容
目標管理	売り上げ目標の設定の仕方、年間計画の作り方などについて
予算管理	変動費や固定費、損益分岐点といった用語の意味について
マーケティング&サービス	市場分析法や身だしなみ、店舗のチェック項目などについて
人材育成	面談のポイントや評価・指導方法について
店舗管理	品質や衛生、設備の管理の仕方などについて

日本でカジュアルレス

トラン「フーターズ」を運営するエッチジャー

(東京・中央)の田辺満男社長らが中心となって昨春、一般社団法人の日本店長能力検定協会(東京・千代田)を設立した。日本マクドナルドに約20年在籍した田辺氏をはじめ「参画者はいずれもマクドナルドなど大手外食企業の勤務経験者」(田

辺氏)という。昨秋、1回目の検定試験を実施し、約20人が受験した。今年から検定制

度を軌道に乗せる方針で、年数回の試験を実施する。検定のテキストは協会のホームページなどを通じて販売する。すでに中堅回転ずしチェーン

などが導入を検討しており、今後も外食企業を中心に制度の活用を呼びかける。協会では検定試験とは別に、月1回での各社の店長が集まる交流会なども開催。情報交換の場として活用してもらうほか、検定制度の知名度向上にもつなげる。外食企業では会社によって店長に求める資質の水準が異なっていたり、店長教育が行き届いていなかったりする。統一的な検定制度を設けることあると、協会は見込んでいる。